

公表：令和 3 年 3 月 31 日

事業所名 児童デイサービス もしもし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			学習スペースとプレイスペースが仕切られており、勉強と遊びの時間の区別を理解しやすくできていますが、完全に区切られていない為、音により集中ができない子も出てしまっています。現在は机の向きを変えて対応していますが、バーテーションなどで音を遮る方法を検討しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			療育終了後、毎日フロアやトイレの清掃・消毒作業を行っています。清潔と衛生を保てるよう最大限心がけています。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ブログを定期的に更新し、事業所内での活動を発信しています。また、自己評価もホームページの営業概要のページから閲覧することができます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後必要に応じて実施していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		新型コロナウイルスの影響により、今年度は研修への参加が困難でした。しかし、ビデオによる虐待防止研修などを閲覧できるようにしています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約の際に、標準化されたニーズ把握シートの提出を保護者様にお願いしています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援計画書は、全スタッフの話し合いによって作成しています。年に2回以上見直しのための会議が行われ、子どもの成長に合わせて支援内容の変更を行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動・英語・集団活動・工作・ダンス等、毎日変わるプログラムにはそれぞれ担当者がおり、発案されたものを数名でチェックしてから実行しています。様々な分野に挑戦してもらい、児童一人ひとりの得意なことや可能性を見出すことを目的としています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼を設けてはいませんが、療育後にスタッフ間で話をし、その日の支援や活動を振り返ると共に反省と情報の共有をしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日必ず個別の記録を取っています。会議の際や療育過程の節目などに見直し、支援の改善点を話し合っています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月ごと、あるいは必要時に、会議により振り返り・見直し・変更が行われています。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		現在はまで参加の実績はありませんが、必要がある時には参加します。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		こちらから直接連絡をしたことは未だありませんが、保護者様を通して情報の交換と連携を行っています。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		医療ケアが必要な子どもの主治医が作成したリハビリ実施計画書を参考に支援内容を作成しています。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		こちらから直接連絡をしたことは未だありません。必要時には保護者様を通して連絡を取ります。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			児童の送迎時に先生と話をさせていただいたり、事業所に見学に来られた際にも情報の共有をしています。また保護者様の同意がある場合は、連絡ノートに目を通していただき日々の様子や変化をお伝えしています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者様を通して情報をやり取りしています。直接お話をする必要がある時には連絡をします。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		正職員全員が定例研修に参加しています。また、センターの方に2度見学にお越しいただき、ご意見やアドバイスをいただいています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		未実施ではありますが、今後祭日等に、障害のない子どもも参加できる工作教室を開きたいと考えています。
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		今後参加させていただきたいと考えています。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時にその日の様子や変化を必ず保護者様に伝えています。また、同内容を連絡ノートに記載し伝えています。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		今年度の3月に保護者面談を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により実施を見合わせています。ペアレント・トレーニング等は、面談と合わせて実施します。状況が落ち着き次第順次おこなっていく予定です。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時すべてに目を通していただき、必要な箇所は説明をしています。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時に保護者様とお話をしています。また連絡ノートの中に悩みや相談があれば応じた返答をし、必要な時には保護者様へ連絡もしています。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		12月にクリスマス会を実施し、保護者同士がお顔を合わせる機会を設けています。2月に保護者様の希望アンケートを取り、茶話会を希望されるご家庭が多数ありましたので今年度の3月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により実施を見合わせている状況です。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報は作成していませんが、ホームページにその日の活動風景や内容載せています。保護者様はホームページを閲覧することで、活動内容や普段のお子様の様子を知ることができます。 https://www.moshimoshisapro.com/blog
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	㊴	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			現在、意思の疎通に配慮の必要な児童は在籍していませんが、必要時にはスタッフ個々人が配慮のある対応をします。
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		未実施ではありますが、今後地域との交流も行えるイベントや活動を取り入れていきたいと考えています。
非 常 時 等 の 対 応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の用意があり、契約時にご説明しています。スタッフはそれらに目を通していますが、訓練については今後実施する予定です。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を実施し、消防署へ報告しています。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に保護者様とよく話をして記録しています。通所後の変更についても、連絡ノートや送迎時の会話により確認しています。
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			現在アレルギーのある児童の利用はありませんが、利用のある場合は最善の注意を払って対応します。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットのあるたびに記録して共有しています。
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			日々確認し合うと同時に、定期ミーティングでも全スタッフに向けて話をしています。
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		現在身体拘束の必要がある児童の利用はありませんが、利用のある場合は児童発達支援計画書に記載します。